

令和5年12月14日（木）

過去にこだわるものは未来を失う

「過去にこだわるものは未来を失う」とは、イギリスの政治家だったウィントン・チャーチルの名言です。

長い人生を歩んでいると、仕事で失敗したり、好きな人にフラれたり辛いこともたくさんあるものです。そして、そういった過去の辛い出来事を引きずって失敗を恐れるようになり、なかなか新しい一歩を踏み出せなくなることもあります。

しかし、既に過ぎてしまった過去の出来事にとらわれていては、幸せになるかも知れない未来を自ら手放してしまうことにつながりかねません。

ですから、喜入中学校の生徒の皆さんは、過去に学ぶことは大切ではありますが、過去にこだわりすぎて未来を失うことにならないよう、前を向いて進んでいきましょう。